

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公表番号】特表2006-522953(P2006-522953A)
 【公表日】平成18年10月5日(2006.10.5)
 【年通号数】公開・登録公報2006-039
 【出願番号】特願2006-509752(P2006-509752)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 6/44 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/44 3 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の分離順序を有する光ファイバリボンであって、

第1のサブユニットを有し、該第1のサブユニットは、全体として平らな形態に配置され、第1の1次マトリックスによって互いに連結された複数本の光ファイバを有し、該第1の1次マトリックスは第1の端部及び中間部を有し、該第1の端部は、前記第1の端部は全体として球根の形状を有し、該全体として球根の形状は厚さを有し、前記中間部は厚さを有し、前記第1の端部の厚さは前記中間部の厚さよりも大きく、前記第1のサブユニットは、第1のリボンユニットの一部であり、前記光ファイバリボンはさらに、

第2のサブユニットを有し、第2のサブユニットは、全体として平らな形態に配置され第2の1次マトリックスによって互いに連結された複数本の光ファイバを有し、前記第2のサブユニットは、複数のサブユニットを有する第2のリボンユニットの一部であり、前記光ファイバリボンはさらに、

2次マトリックスを有し、該2次マトリックスは、前記第1のリボンユニットと第2のリボンユニットを互いに連結し、前記2次マトリックスは、前記第1のリボンユニットと第2のリボンユニットの間に形成されたリボンユニットインタフェースに隣接して設けられた優先的引き裂き部分を有する、

ことを特徴とする光ファイバリボン。

【請求項2】

前記第2のサブユニットの1次マトリックスは第1の端部及び中間部を有し、

前記第1の端部は、全体として球根の形状をし、該全体として球根の形状は厚さを有し

、

前記中間部は厚さを有し、前記第1の端部の厚さは前記中間部の厚さよりも大きい、

請求項1に記載の光ファイバリボン。

【請求項3】

全体として球根の形状は、第1のサブユニットの端の光ファイバの周りに設けられている、

請求項1に記載の光ファイバリボン。

【請求項4】

前記第1のサブユニットの1次マトリックスは、厚さを備えた第2の端部を有し、

該第 2 の端部の厚さは前記中間部の厚さよりも大きい、
請求項 1 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 5】

前記第 1 の端部の厚さは、前記中間部の厚さよりも約 5 μm 以上大きい、
請求項 2 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 6】

前記 2 次マトリックスは少なくとも 1 つの局所的最小厚さ部分を有し、
前記少なくとも 1 つの局所的最小厚さ部分はリボンインタフェースに隣接して位置している、
請求項 1 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの局所的最小厚さ部分は約 0 ～約 5 μm である、
請求項 6 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 8】

光ファイバリボンであって、
第 1 のサブユニットを有し、該第 1 のサブユニットは第 1 の複数本の光ファイバを有し、
前記第 1 の複数本の光ファイバは第 1 の 1 次マトリックスと接触し、前記第 1 のサブユニットは、第 1 のリボンユニットの一部であり、前記光ファイバリボンはさらに、
第 2 のサブユニットを有し、該第 2 のサブユニットは、第 2 の複数本の光ファイバを有し、
前記第 2 の複数本の光ファイバは第 2 の 1 次マトリックスと接触し、前記第 2 のサブユニットは、少なくとも 2 つのサブユニットを有する第 2 のリボンユニットの一部であり、
前記第 1 のリボンユニットと第 2 のリボンユニットは、平面に沿ってほぼ整列し、
前記第 1 及び第 2 のサブユニットの部分に接触する 2 次マトリックスを有し、該 2 次マトリックスは断面の厚さが一様ではなく、前記 2 次マトリックスは優先的引き裂き部分の少なくとも一部を構成する少なくとも 1 つの凹み部分を有し、該少なくとも 1 つの凹み部分は、前記第 1 のリボンユニットと第 2 のリボンユニットとの間に形成されたりボンユニットインタフェースに隣接して位置している、
ことを特徴とする光ファイバリボン。

【請求項 9】

前記凹み部分の幅は約 200 μm 以上である、
請求項 8 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 10】

前記第 1 のサブユニットは、所定厚さを備えた第 1 の端部と、所定厚さを備えた中間部を有し、
前記第 1 の端部の厚さは、前記中間部の厚さよりも大きい、
請求項 8 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 11】

前記第 1 の端部の厚さは前記中間部の厚さよりも約 5 μm 以上大きい、
請求項 10 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 12】

前記第 1 のサブユニットは断面の厚さが一様ではなく、
前記第 2 のサブユニットは厚さが一様ではない、
請求項 8 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 13】

前記凹み部分は、全体としてリボンユニットインタフェースからオフセットしている、
請求項 8 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 14】

前記オフセットは約 125 μm ～約 300 μm である、
請求項 13 に記載の光ファイバリボン。

【請求項 15】

所定の分離順序を有する光ファイバリボンであって、

第1の2次マトリックスを有し、該第1の2次マトリックスは、少なくとも第1のサブユニットと第2のサブユニットを互いに連結し、それにより第1のリボンユニットを形成し、前記第1のサブユニットと第2のサブユニットとはそれぞれ、全体として平らな形態に配置され、それぞれの1次マトリックスにより互いに連結された複数本の光ファイバを有し、前記光ファイバリボンはさらに、

第2の2次マトリックスを有し、該第2の2次マトリックスは、少なくとも第3のサブユニットと第4のサブユニットを互いに連結し、それにより第2のリボンユニットを形成し、第3及び第4のサブユニットはそれぞれ、全体として平らな形態に配置されていて、それぞれの1次マトリックスにより互いに連結された複数本の光ファイバを有し、前記光ファイバリボンはさらに、

3次マトリックスを有し、該3次マトリックスは前記第1のリボンユニットと前記第2のリボンユニットを互いに連結し、前記3次マトリックスは、前記第1のリボンユニットと前記第2のリボンユニットとの間のインタフェースのところに優先的引き裂き部分を有する、

ことを特徴とする光ファイバリボン。